

講演会型+体験活動参加型(小学校)

学校名等	安八町立結小学校
実施日時	令和5年1月18日(水)13:40~15:25
会場	結小学校 体育館・家庭科室・図工室
参加人数	保護者39名・1年生児童42名(3名欠席)
学習課題(分野)	講演会「めざせ!かむことマスター」(基本的な生活習慣) 体験活動「写真立てづくり」(家族の大切さ)
運営者の願い	講話では、「噛むこと」の大切さを伝え、親子で毎日の生活の中で大切にしていってほしい。 また、新型コロナウイルス感染予防のためできないことも多い中、親子で楽しめる活動を行いたい。

学習の内容

<開会>

家庭委員長挨拶の後、校長先生にご挨拶をいただいた。今回は閉級式も兼ねており、家庭で大切にしていってほしいことなどの話があった。

<ロッテ「めざせ!かむことマスター」教育支援プログラム>

歯科衛生士の杉野美紀さんが講師となり、ロッテの教育支援プログラム「めざせ!かむことマスター」を活用して、親子で楽しみながら学習できた。

小学1年生にも分かりやすく、動物たちの噛み方から学ぶことができる内容だった。どんなふうに噛むとよいのか、講師の問いかけに答えながら講話を聴き、よく噛んで食べることの大切さや噛むときのポイントを、楽しく学ぶことができた。



<親子工作>

役員が準備したフォトフレームに飾り付けをして、親子で写真立てづくりを行った。飾りは、役員で準備したものだけではなく、シールやビーズ、リボンなど各家庭から持参してもらい、親子で相談しながら飾りを貼り付けていった。最後には、お互いに自分の作品を満足げに見せ合い、みんな笑顔だった。



<参加者の感想>

- ・「かむことマスター」では、クイズがあったので、子どもも楽しく参加できました。噛む回数で色が変わるガムを家で楽しそうに噛んでいました。
- ・食事中、噛むことについて、「よく噛んで食べて」と言うだけで、その理由や大切さを教えたことがなかったので、今回お話をいただけたことで、噛むことの大切さや意識づけができてよかったです。
- ・「親子工作」では、どのような写真立てにしようかと相談しながら作ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。最後に作った写真立てを見せ合っている子供たちの笑顔がとても印象的でした。

<活動の成果と今後に向けて>

コロナ前に例年行ってきた活動ができず、在宅の取組や、感染対策をした活動を工夫し実践できたことは成果だった。また、基本的な生活習慣を意識づける活動ができ、なぜ大切なのかを親子で学ぶよい機会となった。今後も、家庭で過ごす時間が充実するような取組を工夫していけるとよい。



講演会型+体験活動参加型

今年度は、2回、講演型+体験活動型の活動を実施しました。

1回目は岐阜市博物館の方を講師に招き、子どもたちが関心のある恐竜の話の聞いた後に化石のレプリカづくりを行いました。

今回は、家庭教育学級長が歯科衛生士ということもあり、この教育支援プログラムの実施を計画しました。また、講話の後は親子で一緒にできる活動を考えました。親子で「噛むこと」の大切さを学ぶとともに、素敵な作品を作ることができた貴重な機会となりました。



感染予防を考慮した体験活動を工夫

コロナ前は例年実施していた親子クッキングや給食の試食会は、今年度も実施することは難しいと考えました。そこで、感染対策をしながら親子で触れあえる活動を考え、企画しました。

夏休みを利用した「親子でおにぎりクッキング」、11月に実施した「親子体操」、そして今回の「親子工作」、どれも、普段はなかなか親子でできない体験ができて、笑顔いっぱいの活動となりました。